

4. 成績評価における客観的な指標

授業科目の総時間数の2/3以上を出席した者は試験を受けることができる。成績評価は筆記試験のほか、レポートや演習課題、実技による試験も含まれる。各授業科目の評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

学校長は授業科目の出席すべき時間数の3分の2以上出席し、その試験に合格した者に、学校運営会議の承認を得て、単位の修得を認定する。

学籍簿の単位修得の表示は以下のように行う。

AA(90点以上) A(80点以上) B(70点以上80点未満)

C(60点以上70点未満) D(60点未満もしくは無資格) N(単位認定)

履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。その数値(平均点)をもとに、各回生(学年)の成績順位を示す。